

令和8年度チャレンジ・プロジェクト 「伝統文化体験」が行われました

D グローカル視点で地域の伝統を学ぶ事業

5月13日（水）本校にて令和8年度チャレンジ・プロジェクト事業の一環として1年生を対象に「伝統文化体験」が開催されました。

生徒たちは、6つの「伝統文化」お囃子・華道・三曲・茶道・着付け・日舞の中から1つを体験し、その体験内容をクラスで共有しました。それぞれの伝統文化で受け継がれてきた作法や基本を学び、実際に体験することで、その魅力の一端を味わうことができました。

石岡市役所・石岡市文化協会とも連携し、石岡のお囃子をはじめ、地域の方々との交流を深めるだけでなく、お囃子や三曲ではタイ人学生との国際交流も行いました。

また、伝統文化体験で講師をしてくださった皆様ありがとうございました。



生徒の感想を紹介いたします。

体験	伝統文化体験を経て感じたこと
お囃子	お囃子の演奏を間近で聴き、その力強いリズムに圧倒されました。特に大太鼓の響きは、音というよりも振動として身体の芯まで伝わってきて、お祭りの高揚感を肌で感じることができました。笛の澄んだ音色と鉦の軽やかな響きが重なり合う様子は非常に心地よく、日本の伝統が持つエネルギーを再発見する貴重な体験となりました。
茶道	茶道体験を通して、一番印象に残ったことは、礼儀や作法を大切にする日本の文化です。お茶を点てる動作一つ一つに意味があり、とても丁寧で美しいと感じました。また、静かな雰囲気の中で集中して取り組むことで、普段とは違う落ち着いた気持ちを味わうことができ、とても良い経験になりました。
華道	華道の体験を通して感じたことは、意外と難しいということです。最初は簡単だろうと思ったけど、やってみたらバランスが上手く取れなくて難しかったです。バランスを取るために、空いている空間を見つけてお花を挿したり、色合いをみて作ったりするのがコツと学びました。お花の茎を斜めに切ったり、用意されたお花を全部使わなくてもいいということに気が付きました。
三曲	地歌では「高ツボ」と呼ばれる高い音域を多用し、緊張感のある長いフレーズを奏でた後、通常の音程に戻った時の爽快感が特徴です。また、奏者同士の呼吸がぴったりと合う様子はとてもすごかったです。そしてみんなで演奏を合わせられるのもすごいと思いました。
着付け	先生たちが見ただけで素材を言い当てていたのがすごかったです。また、つまずいているところがあると優しく丁寧に教えていただき理解することができました。喋り方がおしとやかで着付けなどの和を習うとそうなるのかなと思いました。背筋が終始伸びていてすごかったです。
日本舞踊	今日、日本舞踊でチャンバラと「さくら」の振り付けを体験しました。実際に踊ってみると、動きは静かでも細かい表現が多く、とても難しかったです。特にチャンバラは迫力があって印象に残りました。また、「藤娘」を見て、動きや表情だけで感情を表現していてすごいと思いました。今回の体験を通して、日本の伝統文化の美しさや奥深さを感じることができました。

